

コロナ禍における行政・公共交通事業者・市内の店舗3者協働MMについて

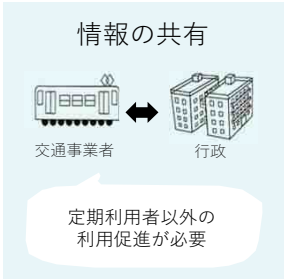
愛知県 豊橋市

発表者：小野寺 早紀(都市計画部都市交通課)

01 背景と目的

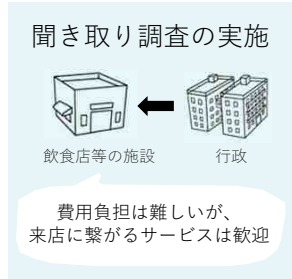
①公共交通利用者の減少

コロナの影響が長期化している今、交通事業者による感染症対策などの取組みや運行の見直しだけでは対応しきれず、存立の基盤そのものが揺らいでいる。



②中心市街地の人流減少

度重なる緊急事態宣言等の発出により、特に公共交通網の中心である豊橋駅周辺の商店街の人流が激減し、活気が失われつつある。



交通事業者・市内の店舗の需要喚起を図る

02 プロジェクトの内容と効果

①店舗が参入しやすい仕組みづくり

- ・店舗に費用負担を求めず参加募集
⇒対象店舗のうち228店舗が参加
⇒参加申込みは、申込書1枚を提出するだけ
- ・補助券の配布条件は各店舗が自由に設定

効果1：店舗での買い物のきっかけづくりに！



店舗への人の流れを創出。
市内の店舗からは「お客様も喜んでくれた。」との声



②市内の公共交通に共通して使用できる補助券

- ・鉄道、路線バス、路面電車、タクシーの共通補助券
⇒各公共交通の利用方法に合わせることで、1種類の補助券を共通して使用できるように
- ・単価が高いタクシーは1乗車で5枚まで使えるように設定

効果2：公共交通を利用した外出のきっかけづくりに！



使用された乗り物補助券は5,255枚。
交通事業者からは「日に日に使用枚数が増えていった」との声



03 結論

新しい生活様式に合わせた利用促進策に取り組むことで、利用離れしてしまった人にまで公共交通の存在をPRすることができた。また、市内の店舗と、公共交通事業者、行政の3者で取り組むことで、新型コロナウイルス感染症の影響を受けた店舗の支援にも繋がり、公共交通とまちなか活性化の双方に効果があった。

諸元

概要

実施期間：令和3年1月中旬～3月中旬
対象店舗：GoTo商店街事業に応募した商店街・発展会の店舗 豊橋エールチケットの各加盟店等
配布枚数：27,700枚（1店舗に100枚を配布。希望があれば追加配布）

補助券

鉄道・路線バス・路面電車
⇒1乗車につき1人1枚まで
タクシー（個人タクシーを含む）
⇒初乗り料金を考慮して1乗車につき5枚まで

各公共交通でほぼ均等に補助券が利用された

費用

補助金：5,255枚×100円 525,500円
印刷費：PRポスター製作費 13,000円 計538,500円